



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動
が活発になり、多くの市民の顔がキ
ラキラ輝くようにという願いを込
めました。

…つばやきサロン…

『新たなる気づき』

発達障害のある人たちがその人らしく地域の中で生活していくためには、どのような社会資源や仕組みがあり、それらを使ってどのような支援ができるのかを学びたいと思い生涯学習のセミナーを受講しました。

このセミナーで北九州市の高齢化の人口構造は10年後の日本の姿であり、その取り組みは先駆的モデルとして全国的に注目されているが、生涯学習や地域福祉を担う人が少なく、人材の掘り起こしが、緊急かつ重要な課題であることを学びました。

そこで、グループワーク等で要因や具体的な対策を討議しましたが、社会、地域、家庭の相互扶助の機能が弱体化しつつある現在、速効的な解決方法はないことを痛感しました。

現実的な対策として、若いうちから生涯学習やユニバーサル社会の理念を身に付け、自分を磨き、孤独化・孤立化しないように、学齢期からの学びや企業内の研修を推進していくことが重要だと感じました。また、私の周りには発達障害のある青年たちは、余暇活動の一環として、障害のある人たちにJRを利用した旅を提供している「ひまわり号を走らせる会」や「車イスバスケットボール大会」のボランティアとして活動しています。この活動は、彼らの今までの要支援者としての自分の殻を破り、支援者としての自分を統合し、新たなアイデンティティを作ることに繋がっています。このように障害のある人だけではなく、今までに支援を受けていた人たちも、自分の力を信じ、支援者として活動していくことができるのではないかと考えました。

誰もが住み慣れた地域で、助けたり助けられたりし、安らぎのある暮らしができるようにするためにも、誰もが生涯学習・地域福祉に関心を持つことが大切だと強く感じました。

発達障害のある人たちにどのような支援ができるのかを学びたいと思って参加したこのセミナーでしたが、地域の一員としての彼らの力を、地域の中でどう活かせるかを考える機会となりました。



にしいろくらぶ 代表 大曲 千代子

☆NPO活動発表会☆ ～小倉のまちなか活性化～

☆発表内容☆

「小倉のまちの『わくわく』『どきどき』の創出」



■スピーカー■

We love 小倉 協議会
辻 利之 さん

街には様々な課題があります。店主の高齢化、早い閉店時間、組合加入率の減少傾向や空店舗の増加、通行量や買い物客の減少、トイレや休憩所の不足などです。また、ゲーセンやドラッグストアなどの新業種が勢力を増し、反対に小倉を代表する名店が少なくなり、青少年問題や落書き等の行為も増えて来ました。

こうした中、「小倉(まち)に行こう!」を合言葉に、We Love 小倉協議会を昨年(会長・熊谷美佐子)立ち上げました。

これは小倉の中心市街地で活動する事業所が相互に連携することにより、小倉の中心市街地の魅力を高め、集客力の向上と活性化を進めて行こうとする団体です。

①小倉の中心市街地で活躍する大学・企業・まちづくり団体・NPO・自治会・商業者などが、相互にネットワークを構築する。

②小倉の中心市街地の「情報のプラットフォーム」を構築し、市外からも多くの方が来てくださる様に、幅広く街の情報を発信していきます。

③小倉の中心市街地の魅力を高めるさまざまな事業を応援すると共に、自らも企画実施し地域に貢献します。

福岡市や東京でなく、小倉のスタイル・小倉のサイズ・小倉のリズムの街づくり…。

小倉ならではの「わくわく」「どきどき」を創出していこうと考えています。

近日 We Love 小倉協議会の朝会を開催する予定です。皆さんをお誘いし、「皆さんの団体と中心市街地との関わり」について議論を深めていきたいと思っております。

是非ともご参加下さい。

☆発表内容☆

「『大學堂』@旦過市場―
社会起業としての可能性」

旦過市場は、約120以上もの店舗が軒を連ねる北九州の台所です。

10年ほど前に旦過市場と北九州市立大学の九州フィールドワーク研究会との関わりが始まり、大學堂の立ち上げに到りました。

昭和のたたずまいを残す大學堂は、ある時は食事処であり、あるときは文化の発信拠点であり、またあるときは井戸端会議の場にもなります。

中でも旦過市場を丸ごと食べられる大學堂は小倉名物です。大學堂で白いご飯を買い、市場で好きな具材を買って載せ大學堂に帰って食べる丼は楽しいと美味しいを両方かなえられます。

昨年からはじめた学生による起業インキュベーション「わたしのおみせ」は、堂内の一部のスペースを個人のお店として提供しています。お店の家賃と売り上げの一部を大學堂に入れるというルールのみで簡単に自分のお店を出せます。現在5店舗あります。

このように、大學堂は市場に来る人を繋ぐ役割を持ちつつ、やりたいことができるという自分の創造を可能とする場です。つまり無限の起業の可能性が広がっているのです。現在、使われていない大學堂の2階に新しくてかっこいい空間、屋根裏博物館(アチックミュージアム)を作ろうと、北九大、九工大、九大、設計事務所の合同プロジェクトが進行しています。



■スピーカー■

北九州市立大学生

布施 咲子 さん / 岩崎 蔵人 さん

講座・イベント・情報

◆◆点訳ボランティア養成講座（全15回）

点訳実技や視覚障害者の現状など点訳活動の基本を学習します。

- 日時：5月11日（水）～8月24日
毎週水曜日10：00～12：00
- 申込期間：4月18日（月）～28日（木）
- 定員：20名
- 受講料：1,000円（テキスト代他）
- 申込・問合せ先：北九州市立点字図書館
TEL093-645-1210

↓ くわしくは ↓
<http://www.normanet.ne.jp/~ww103765/ivent/seibu/tenyakuvol.html>

◆◆災害ボランティア講座（無料） ～今、私たちにできること！！～

被災地に赴き活動する市民の安全を守るとともに、活動の際の心構えやマナー、留意点などについて専門家をお招きして学習を行います。

- 日時：4月24日（日）10：00～12：00
- 場所：ウェル戸畑12階 HI研修室
- 定員：100名（先着申込順）
- 対象：
 - ① 北九州市社協に災害ボランティアの事前登録及び現地でのボランティア活動に関する情報提供の事前登録を行っている活動希望者（60名）
 - ② 被災地に向いて、ボランティア活動を行いたいと思っている人、災害支援ボランティア活動に関心のある人等（40名）
- 講師：長谷部 治 氏
日本ボランティアコーディネーター協会理事 他
- 申込・問合せ先：北九州市市民活動サポートセンター
TEL093-562-5309
（平日：10：00～21：00、日曜日：17：00まで）

助成金情報

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
NPO公益活動支援事業 （愛称：きらきら）	NPO	北九州市	4/20
まちづくりステップアップ事業	まちづくり	北九州市	4/20
子どもの遊びや体験活動を支援 「遊びの広場促進事業」	子ども	北九州市	5/9～ 6/9
子育て家庭支援団体に対する助成活動		生命保険協会	5/20
公益信託 富士フィルム・グリーンファンド	環境	財団法人 自然環境研究センター	5/16
ザ・ポティショップ・ニッポン基金	環境・人権	ザ・ポティショップ	5/31
国際交流基金 日本文化紹介助成プログラム	国際	独立行政法人国際交流基金	5/6
国際交流基金 文化協力助成プログラム			
平成23年度ニッセイ財団 高齢社会助成「先駆的事業助成」	福祉	日本生命財団	5/31

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。
また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPOってよく聞くけど、そもそも何ですか？

A. NPOとは、Non Profit Organizationの頭文字を取った略語で、広義のNPO、狭義のNPOというように複数使われ方がありますが、一般的には、営利を目的とする団体（会社）に対して、営利を目的としない民間団体の総称として使われています。本来的に法人格を持っているかどうかは、問題ではありません。これらの組織は、保健福祉の増進、文化・芸術・スポーツの振興、まちづくり、国際協力、災害救助、人権の擁護などの幅広い分野で活躍しています。市民が自発的に活動を組織していることが多いことから、このような活動を「市民活動」とか「市民公益活動」ということもあります。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年2月28日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	40,399	38,817
【福岡県】	1,480	1,438
内閣府	3,521	3,303
全国計	43,920	42,120

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年3月31日現在

	受理数 (認証数+現在申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	268	263

2011年3月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人 AED・CPR講習会本部 (3月9日)
- 特定非営利活動法人 たんぽぽの家 (3月9日)

北九州市には、定例会を長期に渡って開催している団体がいくつかあります。継続的な定例会が、息の長い活動の所以なのかもしれません。今月から不定期で定例会にスポットを当てて、紹介していきます。



新しいスタッフです！

花本 靖子

趣味…読書、食べ歩き

まだまだ慣れないことばかりですが、新しい環境、新しい出会いに毎日ワクワクしています。一つ一つ、皆様に教えていただきながら、明るく、笑顔で頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

北九州NPO研究交流会 定例会(108回)

1998年にNPO法(特定非営利活動促進法)が制定され、北九州にもNPO法人が増える中、「NPO同士の横のつながりが無い、課題共有の場がない」という声をもとに、団体の課題を共有することで、解決の糸口を探ろうという趣旨で当会が始まりました。スタートは2000年2月。当初は、介護NPOの第三者評価を取り上げたり、NPO立ち上げの話題を共有したりしました。以来、毎月定例会を開催し2011年3月で108回を数えます。現在の会員数は団体13、個人46名です。

2001年には北九州市市民活動サポートセンターの開設にともない、定例会会場等、活動拠点を北九州市立大学北九州産業社会研究所からサポートセンターに移しました。2002年には運営委員会と会員制度をはじめ、組織基盤の確立を目指しました。年間テーマを掲げて、中でも「なぜNPOなのか」とNPOというスタイルを選択する理由とその目的について活発な意見交換がありました。

次号に続く



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】4月28日(木)・5月12日(木)

編集後記

また一館、ミニシアター、アート系の映画館が消えようとしています。博多駅バスセンター7階にあるシネリーブルです。運営会社によれば収支は黒字。ただ、九州新幹線全線開通に合わせ、グランドオープンしたJR博多シティにスクリーン11を誇るシネコンが入り、経営悪化は今後避けられないとの見通しによるものらしいです。福岡では2007年にシネサロンパヴェリア、2009年にシネテリエ天神が閉館しています。4月30日から5月13日までクロージング上映会するそうですが、映画ファンには新幹線開通は逆効果になってしまい、なんとも寂しいかぎりです。byバックン